

規制前の駆け込みマンション建設に

住民が反発 噂の東京マガジンで放映

昨年の11月30日にTBS「噂の東京マガジン」で市内の「高さ制限」規制前の駆け込みマンション建設に反発する住民運動の状況が放映された。



番組の中で、「高さ制限の意義や、なぜ市の高さ制限が遅れているのか」などの取材を受けた私の発言が放送された。

番組の内容は「噂の東京マガジン」HPで以下のように紹介されている。

マンション建設にからんで、激しい対立が起きていた。現場は、千葉県船橋市。テニスコートだった土地に、マンション建築会社が去年10月、マンション建設計画の看板を出した。高さ33メートルの高層マンションを建てるという内容。ところが、去年、船橋市が作成した建物高度規制案では、この地域の高さ規制は「上限20メートル」だった。周辺の住民は「規制が実施される前の駆け込み」と反発しているのだ。

建物高度規制案をめぐるのは、船橋市は、今年3月までの実施を目指すとしていたが、手続きが間に合わず、高さ規制の実施は先送り。今は、来年4月の実施を目指している。船橋市内の中高層マンション建設に反対する住民は、「船橋市の高さ規制を実現する会」を結成し、高さ規制の早い実施を願っている。

なお、市民から議会に出された都市計画高度地区変更（高さ制限）の早期実施に関する陳情は賛成多数で採択された。

通信配布ボランティア募集

浦田秀夫通信「議会報告版」は年4回発行していますが、1人でも多くの市民に届けるために、地域で50～100戸程度の戸別配布していただけるボランティアを募集しています。皆様のご協力をお願いします。なお、大量に配布していただける有償ボランティアも募っています。問合せは461-1350へ

子ども医療費助成拡大署名取組み中

中学校3年生までの

子ども医療費の助成を中学校3年生まで拡大することを求める署名運動を行なっています。

市長は、9月議会で「新年度予算の中で検討してみたい」と答弁しましたが、市民の声を市政に届けるための署名運動です。

署名は3月議会に提出する予定です。皆様のご協力をお願いします。



分離式信号機の設置は困難であると答弁

市は12月議会で、松が丘4丁目から高根台第2小学校へ通う児童の通学路になっている高根台中学校前の交差点に歩車分離式信号機を設置することについて「県警と協議したが、大規模な道路改造が必要なことや渋滞の増加が予想されることから現状では困難である。現状の中で出来る安全対策を講じたい。」と歩車分離式信号機の設置が困難であることを明らかにした。

この問題は、去年の3月に高根台第二小学校PTAが8500名分の署名を添え、県警に要望していたものです。今回の協議結果は、児童の安全・命より車の通行が優先するというものです。

引き続き、歩車分離式信号機の設置の実現に向けて関係機関に働きかけていきます。

浦田秀夫と市民の会の会員募集

浦田秀夫と市民の会は、浦田秀夫の政治活動を支えるとともに、一人一人の願いを市政に届け、実現させる活動を行なっています。

また、会員相互の親睦を図る目的で、バスツアーやパークゴルフ、懇談会なども行なっています。会費は年間1000円です。09年度の会員を募集しています。是非ご加入下さい。

最新の活動情報は浦田秀夫のホームページ <http://www.ceres.dti.ne.jp/~urata/> でご覧になれます。また、浦田秀夫でも検索できます。